

中國史研究小録 十七  
甲骨版埋藏處考(上)

— 殷墟を中心として —

要旨

本論は殷代占卜制の一環として、占卜後の甲骨版の處理について論じたものである。

一九二八年に始まる、二十世紀の殷墟の考古學的な發掘は、甲骨版の出土地點あるいは「探坑」や「穴窖」などの種類を明らかにし、當該テーマ考察の基礎的資料を提供するところとなった。ここでは、まずこれらの資料を卜辭の「分類と時代區分」との關連で整理し直したうえで、これまでの占卜制研究の成果、すなわち、甲骨の材質の相違や貢納制、あるいは神聖政治の變質の觀點から、使用後の甲骨版が、「埋藏」された意味を考察する。

キーワード 占卜制 埋藏 殷墟

一、はじめに

殷墟の時代(前一三〇〇〜前一〇四六年とされる)から千年以上後に褚少孫の記したつぎの件は、筆者の占卜制研究の諸テーマを端的に示す。

神龜出於江水中、廬江郡常歲時生龜長尺二寸者二十枚輸太卜官、太卜官因以吉日別取其腹下甲。龜千歲乃滿尺二寸。王者發軍行將、必鑽龜廟堂之上、以決吉凶。今高廟中有龜室、藏内以爲神寶。

これは、『史記』卷一二八龜策傳の褚先生曰にみえる話で、大筋はこうである。

末次 信行<sup>1</sup>

占いの材料としての「神龜」は、「廬江郡(安徽省)」から都・長安の「太卜官」へ、「尺二寸(二七釐)」の大きさの「生龜」、すなわち「千歳」生きた龜を毎年二十匹貢納することになっている。献上された龜は、「太卜官」によって「吉日」に殺され腹甲を占卜用として處理された。そして皇帝が將兵を出す場合、必ず廟堂で龜版に鑽を入れて吉凶を決すのである。今現在(元帝)成帝(前四九〜前八年)の頃、使用後は高祖の廟内の「龜室」に「神寶」として寶藏されている、と。

つまり、占いの材料が如何なるもので、何處から何處へ送られ(貢納され)占卜用として處理されたか、また、占う内容は如何なる事柄で、何處で鑽鑿を入れ占ったか、占った後、如何なる處置がなされたか、などなどの基本的な項目を明示する。さらに、占いの問いかけ先も明白で、この場合、「高廟」でのこととすると、御先祖である高祖(劉邦)ということになる。

筆者は殷代の占卜制について、二〇〇一年の「殷王朝の卜占制度概説(上)」(『金蘭短期大學研究誌』第三二號)を嚆矢とし、以來、占卜制についての考察を重ねてきたが、漢代のそれよりもはるかに複雑で、祖先神に對してのみ問いかけるといった宗教的にも理解しやすいものではなかった。

まず占いの材料は、龜版と牛の肩胛骨が双璧をなす。これらを殷の都へ送り込む貢納者數も武丁期(前一二五〇〜前一一九二年とされる)では、知られているものだけでも二百前後にのぼり、貢納先の占卜機關も複數あった<sup>①</sup>。龜材貢納は、遠方・近方の諸勢力から廣範圍に亙るのに對し<sup>②</sup>、骨材貢納は、比較的中の神聖政治勢力に近い者が多くみられた<sup>③</sup>。また、これら奉納者名を刻

I Nobuyuki SUETSUGU 千里金蘭短期大學部

(受理日 二〇〇八年十月一日)

む材質の相違や記事刻辭の種類からは、時期的な變遷も知られた。武丁初期の「白組」には龜材の甲尾刻辭があり、甲橋刻辭もみられ始め、武丁中期の「賓組」時代になると、甲橋刻辭が甲尾刻辭に取って代わり、骨白刻辭も出現し、武丁晩期には甲橋刻辭が消亡するが、骨白刻辭は残り、骨面刻辭が比較的多くなり、ついで武丁末期から祖庚・祖甲時代の「出組」には骨面刻辭のみとなる④。ちなみに、材質の相違と卜辭内容の相違はないとされているが⑤、しかし、少なくとも貢納制上にはその相違がみられた。

また、こうした素材の相違や刻辭の仕方の變化は、神權政治の質的變化をも意味した。すなわち、武丁時代の神聖政治は「帝（上帝）」信仰が厚く廣範圍に及んでいた性格をもち、當時の内外の諸國によって支えられた、「神權」の強い性格であり、その後、祖先神崇拜を通じて「君權」が強くなり、神聖政治が變質したことを明らかにした⑥。

さらには、占卜する場合、「何者に問いかけ、何處で占うか」という、問いかけの対象と占卜處の違いについて、つぎのように推定した。武丁中後期における、多數の奉納者のある占卜機關「賓組」の占卜場所は「帝（上帝）」を祭るべき場所、後世の「明堂」に當たる建築物などとし、一方、同時代に並存している少數者の奉納者しかない占卜機關「歷組」はその祖先神の廟で占われたとした⑦。

こうした占卜制研究の成果、すなわち、甲骨の材質の相違や貢納者を記した記事刻辭の變遷、あるいは占卜の問いかけ先が「上帝」か「祖先神」かといった観点から、使用後の甲骨版が意圖的に「埋藏」された意味を考察したい。

## 一、甲骨埋藏の文獻例

占卜後、使用された龜版について、後世の文獻によれば次のように處置されている。

『史記』卷一二八龜策傳には「略聞夏殷欲卜者、乃取善龜、已則棄去之、以爲龜藏則不靈、善久則不神」とあり、「夏殷」の時代には、龜版を保藏すると靈妙さが消えるので占いたい時に龜版を用意し、使用後は速やかに「棄去」されたとある。この場合の「棄去」が、具體的にどのように處理されるのか、不

明である。これに對して、『禮記』曲禮上には「龜策敝則埋之」とあり、地中に「埋」めると明示する。その理由として鄭玄は「此皆不欲人藝之也。…埋之、不知鬼神之所爲」と注をする。また、正義には「牲器之類、竝爲鬼神之用、雖敗、不知鬼神用與不用、故埋之猶在…」と解説している。これは、人によって「鬼神」のものを汚されないためであり、また棄てるべき「龜策」とはいえ、「鬼神」がどのように用いるか分からないために埋める、とのことらしい。

また、『周禮』春官占人には「凡卜筮、既事則繫幣以比其命。歲終則計其占之中否」とあり、その鄭玄注に引かれた「杜子春云」に「繫幣者、以帛書其占、繫之於龜也」とあるところから、占の結果を記した帛を龜版に附けて保存すると解せられ、少なくとも一定期間保管することになっていたことも知られる。

## 二、甲骨埋藏に關する考古學的發掘簡史

十九世紀末期になって、殷代の甲骨版の實物が發見された。羅振玉氏は安陽から出土した甲骨を「葬藏」されていたものと理解し文獻資料と符合するとした⑧。董作賓氏は殷墟の考古學的發掘に攜わり第一次發掘（一九二八年）で發見された三六坑出土の甲骨版に注目し、これら甲骨版は「皮藏」されたものとし⑨、また第一〜三次發掘（一九二八〜九年）の成果を踏まえ、「有意的儲藏」すなわち意圖的な保存が一部みられるとした⑩。さらには第十三次（一九三六年）に「完整無缺儲藏甲骨文的窖穴」であるYH一二七が發見され意圖的「儲藏」が決定づけられるとともに、龜甲版の使用法や占卜方法の研究から、特定の人がおりの場所が設定され、甲骨版の保管と貯藏がなされることが知られた⑪。これらの出土状況から各坑を分類して、董作賓氏は「一、儲藏。二、埋藏。三、散佚。四、廢棄」の四種案を提出する。「一、儲藏」の例は第九坑（第一次）と大連坑（第三次）、「二、埋藏」の例はYH一二七（第十三次）、「三、散佚」の例は「灰土中及版築土中の小塊甲骨」、「四、廢棄」の例は「甲骨改造爲其它器物使用、可稱爲『廢物利用』」とした⑫。また、石璋如氏は出土甲骨版について「這些東西、可能有一定保存的時限、以便查考、過了時効、他們也許不要了、而隨着垃圾丟棄、或埋在穴窖中了」と推測した⑬。

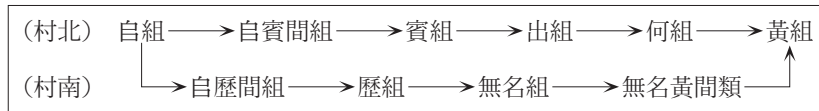
こうした戦前の一九二八年から一九三七年に亙る殷墟の考古學的發掘（第一

（十五次）の成果は卜辭關係では、拓本集として『（小屯）殷墟文字・甲編』（董作賓編、中央研究院歷史語言研究所、一九四八年、以下『甲編』と略稱。）や『（小屯）殷墟文字・乙編』（董作賓編、中央研究院歷史語言研究所、一九四八～五三年、以下『乙編』と略稱）として出版され、甲骨の出土坑層として『（小屯）遺址的發現與發掘・丁編―甲骨坑層之一』（石璋如著、中央研究院歷史語言研究所、一九八五年、以下『丁編（一）』と略稱。）や『（小屯）遺址的發現與發掘・丁編―甲骨坑層之二』（石璋如著、中央研究院歷史語言研究所、一九九二年、以下『丁編（二）』と略稱。）が出版され、また甲骨出土と建築遺址の關係については、『（小屯）遺址的發現與發掘・乙編―殷墟建築遺存』（石璋如著、中央研究院歷史語言研究所、一九五九年、以下『殷墟建築遺存』と略稱。）としてすでに出版されている。

また戦後の考古學的發掘も盛んに行われ、とりわけ小屯南地や花園莊東地からは卜辭の刻まれた甲骨が多量に出土し、いずれも大部の報告書として刊行されている<sup>④</sup>。

このように甲骨版の出土地點の詳細な報告が出揃うとともに、甲骨卜辭の時代區分や分類研究も進み<sup>⑤</sup>、楊郁彦氏は『甲骨文合集分組分類總表』（藝文印書館、二〇〇五年）を上梓するに至った。これは、『甲骨文合集』（中華書局、一九八七～八二年。以下『合集』と略稱。）所載の甲骨片を各片ごとに「分組・分類」し、時代區分した勞作である。この勞作は、李學勤氏の「兩系發展説」を採用し（表一）、林澧氏や彭裕商氏あるいは黃天樹氏、また方述蠡氏の分類に關する學説を受け<sup>⑥</sup>、貞人によって「分組」し、字體によって「分類」する方法を推進し、『合集』の四一九五六片の各片につき分組分類した工具書である。楊郁彦氏は文字學の専門家であり、『甲骨文同形字疏要』という論文で博士學位を取得し、『殷墟卜辭斷代之「字形」標準研究』という碩士論文がある。この工具書で採用されている分組分類の名稱と諸説の關係については、表二のごとくである。この表から知られるように、多くは黃天樹氏の『殷墟王卜辭の分類與斷代』（文津出版社、一九九二年）のそれを用いている（表三參照）。拙稿では、この勞作を活用し、卜辭の刻まれた甲骨の出土地點とそれらの時代と分組分類の分布から、その大概を考察してみたい。

拙稿末尾に附した表四「戦前考古學的發掘坑出土有字甲骨（卜辭）の『分組分類』分布表」は、その考察のための基礎資料である。



表一（楊郁彦『甲骨文合集分組分類總表』前言）

本表簡稱	黃天樹	彭 裕 商	方述蠡
自肥筆	自組肥筆類	自組大字類	自組A 1、A 2、A 3
自小字	自組小字類	自組小字類	自組B 1、B 2
自賓間A	自賓間A類		
自賓間B	自賓間B類		
自歷間A	自歷間A類		
自歷間B	自歷間B類		文丁三類
自類	自類		
賓組	賓組類		
賓一	賓組一類	賓組一A類	
典賓	典賓類	賓組一B類	
賓三	賓組三類	賓組二類	
出一	出組一類	出組一類	
出二	出組二類	出組二A類、出組二B類	
何組事何	何組事何類	何組一類	
何一	何組一類	何組三A類、何組二類	
何二	何組二類	何組三B類	
歷一	歷一類		
歷二	歷二類	歷二A、二B甲乙、二C類	
歷草	歷草體類		
歷無名	歷無名類		歷無名
無名	無名類	無名組一類、無名組二類	
無名黃間	無名黃間類		
黃類	黃類	黃組	乙幸
子組	子組		
午組	午組	午組	午組
亞組		亞卜辭、刀卜辭	亞卜辭、刀卜辭
圓體類	圓體類	子組附屬	貞字作𠄎の卜辭
劣體類	劣體類	子組附屬	刀法最劣の卜辭
婦女類		非王無名組	婦女卜辭

表二（楊郁彦『甲骨文合集分組分類總表』凡例）

第一期	第二期		第三期		第四期		第五期	
武丁	祖庚	祖甲	廩辛	康丁	武乙	文丁	帝乙	帝辛
……何二 AX II ……								
……何一 AX I ……								
…事何類 AX ……								
…出二 AIX ……								
…賓出類 A VIII ……								
…典賓 A VII ……								
…賓一 A VI ……								
…♀類 A V ……								
…自賓間 A IV ……								
……自小字 A II								
…自肥筆 A I ……								
……黃類 A X III ……								
…♀類 A III ……								
…自歷間 B I ……								
…歷一 B II ……								
…歷二 B III ……								
…歷草 B IV ……								
……歷無名間 B V ……								
……無名 B VI ……								
……無名黃間 B VII ……								

表三（楊郁彦『甲骨文合集分組分類總表』前言）

〈以下次號〉

註

- ① 末次信行「殷王朝の卜占制度概説（上・中・中<sub>2</sub>）」（『金蘭短期大學研究誌』第三一・三三・三四號、二〇〇一・二〇〇二・二〇〇三年）、末次信行「卜占用龜骨の貢納制概略（上・下）」（『千里金蘭大學紀要・短期大學部』第三五・三六號、二〇〇四・二〇〇五年）、末次信行「殷墟花園莊出土龜甲の貢納記事について」（『郵政考古紀要』第三六號、二〇〇五年）などを参照。
- ② 前掲「卜占用龜骨の貢納制概略（上）」二四頁参照。
- ③ 前掲「卜占用龜骨の貢納制概略（下）」二二頁参照。
- ④ 李學勤・彭裕商『殷墟甲骨分期研究』（上海古籍出版社、一九九六年）参照。
- ⑤ 張秉權『甲骨文與甲骨學』五四～五五頁、國立編譯館、一九八八年。
- ⑥ 「殷代の「神權」と「君權」―武丁時代を中心として」（『千里金蘭大學紀要・短期大學部』第三七號、二〇〇六年）。
- ⑦ 末次信行「『卜占』處考―「歷組」卜辭を中心として」七頁（『千里金蘭大學紀要・短期大學部』第三八號、二〇〇七年）。
- ⑧ 羅振玉『殷商貞卜文字考』一九一〇年。
- ⑨ 董作賓「商代龜卜之推測」（『安陽發掘報告』第一冊、一九二九年）。
- ⑩ 董作賓「甲骨文斷代研究例」四、坑位（『中央研究院歷史語言研究所集刊外編・蔡元培先生六十五歲慶祝論文集』一九三三年）。
- ⑪ 前掲『甲骨文與甲骨學』二六頁。
- ⑫ 石璋如著『小屯』遺址的發現與發掘・丁編―甲骨坑層之一』序、二頁（中央研究院歷史語言研究所、一九八五年）、以下『丁編（一）』と略稱。
- ⑬ 前掲『丁編（一）』結語、二二頁。
- ⑭ 前掲「殷王朝の卜占制度概説（上）」一～三頁。
- ⑮ 甲骨卜辭の時代区分や分類研究の概説については、前掲『『卜占』處考―「歷組」卜辭を中心として』参照。
- ⑯ 李學勤「兩系發展説」ならびに彭裕商説については、前掲『殷墟甲骨分期研究』、林漢説は「小屯南地發掘與殷墟甲骨斷代」（『古文字研究』第九輯、中華書局、一九八四年）、黃天樹説は『殷墟王卜辭的分類與斷代』（文津出版社、一九九一年）、方述勳説は『殷墟卜辭斷代研究』（臺北、一九九二年）などを取りあげている。

表四 戦前考古學的發掘坑出土有字甲骨（卜辭）の『分組分類』分布表

凡例

一、本表は、戦前の殷墟における考古學的發掘（第一次～十五次）で出土した有字甲骨拓片のうち、分組分類可能なものを取り上げ、各組の拓片数を各坑ごとに整理したものである。なお、第一次～十五次における考古學的發掘で出土した有字甲骨拓片は、『甲編』と『乙編』に整理されている。

一、「發掘區」の名稱と「坑名」は、第一次～九次の考古學的發掘については、『丁編（一）』の本文と表一七七「甲骨分期比較表」に據り、第十三次～十五次については、『丁編（二）』に據る。なお、アルファベットの「發掘區」名は第四次の發掘から正式に採用されたもので、この凡例附圖で各區の大凡の位置が確認できる。これ以前の發掘には、（ ）内にアルファベットの名を附しておく。

一、「坑名」には、名稱とその種類を示す。第一次～九次については、『丁編（一）』の表一七六「探坑與穴窖出土甲骨的情形」に據り、第十三次～十五次については、『丁編（二）』の表二「殷墟第十三至十五次甲骨出土地點及數量」に據る。「坑穴」の種類には「穴窖」がありこれが重要であるが、他に第一次～九次には「探坑」と表現される坑と、第十三次～十五次には「探方」とみえ、それらは（ ）内に記す。「穴窖」は「已有清楚邊際」、「探坑」は「灰土似穴窖未找出邊際」という解説がある（『丁編（一）』表一七六）。「邊際」の有無による違いであるが、「穴窖」には「埋藏」の意圖がみえる。なお、これらの「坑」と建築基址との位置關係については、『殷墟建築遺存』の表一三七「與基址有關係的甲骨之時期」にみえ、「備考」として簡略に記す。

一、「分組分類對象拓片數」は、楊郁彦氏が分組分類した甲骨片数を指し、對象となる出土甲骨拓片は、すべて『合集』に掲載された拓片である。

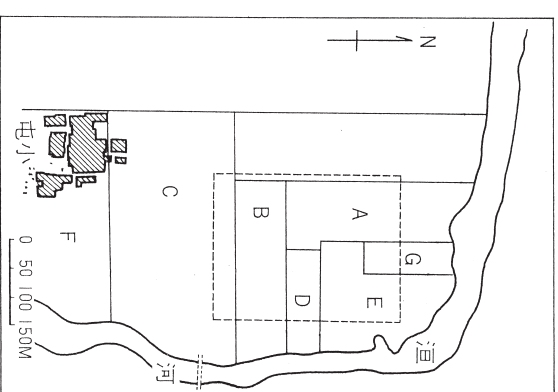
一、「分組分類對象拓片數」ならびに「分組分類拓片數」で資料とした、『甲編』『乙編』の拓片の番號は、各坑ごとに「分組分類對象拓片番號一覽」として本表末尾に附す。

一、「分組分類拓片數」の欄の各組各類の名稱ならびに分期は、楊郁彦説に據る（表二参照）。同版で異なる類組のみえる例には、〈賓一・典賓〉〈典賓・賓三〉〈午組・自小字〉などがある。これらについては、「その他」欄に片數とともに記す。

一、「分組分類拓片數」の欄の各組各類の名稱の後の（ ）内の數字は分期を表す。（一）が第一期、（二）が第二期、（一・二）が第一～二期、（三）が第三期、（三・四）が第三～四期、（四）が第四期、（五）が第五期である。

一、「分組分類拓片數」の項に拘わる手續きとしては、『甲編』『乙編』の拓片番號から『合集』掲載の拓片番號を求め、楊郁彦著『甲骨文合集分組分類總表』に照合して「分組分類」を見出し、それらの片數を集計することになる。

〈附圖〉



番 號	發 掘 次 數	發 掘 區	坑 名	材 質 の 別	分 組 分 類 對 象 片 數	分 組 分 類 拓 片 數																不 明	そ の 他	備 考														
						王								非																								
						自 肥 筆 (一)	自 小 字 (一)	自 寶 間 A (一)	自 寶 間 B (一)	自 歷 間 A (一)	自 歷 間 B (一)	出 類 (一)	寶 組 ♀ (一)	寶 一 (一)	典 寶 (一)	寶 三 (一)	出 一 (二)	出 二 (二)	何 組 事 何 (三)	何 一 (三)	何 二 (三・四)				歷 一 (一・二)	歷 二 (一・二)	歷 草 (一・二)	歷 無 名 間 (三)	無 名 (三・四)	無 名 萬 間 (四)	黃 類 (五)	子 組 (一)	午 組 (一)	亞 組 (一)	圓 體 類 (一)	劣 體 類 (一)	婦 女 類 (一)	
1	1	E 區	9 (附 16 探 坑 17 18)	甲	66	1	1					6	16	10		3			1						25	1									1		寶一・典寶(2)	
				骨	37	1	1					1	19	3		2									8	1									1			
2	1	(B 北區)	25 26 (探 坑)	甲	41		3	1				1	11	10	11	1									2												甲の片數41には、重複例(甲168)を含む。	
				骨	3									2																							甲の片數30には、重複例(甲387)を含む。	
3	1	(F 中區)	24 (探 坑)	骨	30						2																											
4	1	(F 中區)	27	骨	4											1																						
5	1	(F 中區)	28	骨	1																																	

6	1	(F) 村中區	30	骨	2																																																													
7	1	(F) 村中區	31	探坑	甲	1								1																																																				
				骨	15																																																													
8	1	(F) 村中區	35	骨	3																																																													
9	1	(F) 村中區	36	探坑	甲	93	13	34	2	3	8	9	1	2	5	7																																																		
				骨	2																																																													
10	1	(F) 村中區	37	探坑	骨	3				1	4	1	1	1																																																				
11	2	(F) 村南區	101	探坑	甲	3	1					2																																																						
				骨	3											1								1																																										
12	2	(F) 村南區	103	探坑	甲	23	7	7					2		1																																																			
				骨	22																																																													













46	3	村北・北部 (E區)	7 縱五癸 骨	2																	縱五癸は、甲/八の探坑。
47	3	村北・北部 (E區)	8 縱五癸 (探坑) 東支 甲 骨	3							1	1		1							
48	3	村北・北部 (E區)	9 縱六甲 甲	1								1									
49	3	村北・北部 (E區)	10 縱六乙 甲	1									1								
50	3	村北・北部 (G區)	11 横一甲 骨	1										1							





番	發掘	發掘	坑名	材質の別	分組分類対象片數	分組分類片數																							不明	その他	備考										
						王							ト							辭					非王ト辭																
號	掘	區	名	別	數	自肥兼(一)	自小字(一)	自寶間A(一)	自寶間B(一)	自歴間A(一)	自歴間B(一)	出類(一)	寶組&(一)	寶一(一)	典寶(一)	寶三(一)	出二(一)	出二(二)	何組事何(三)	何一(三)	何二(三・四)	歴一(一・二)	歴二(一・二)	歴草(一・二)	歴無名間(三)	無名(三・四)	無名黃間(四)	黃類(五)	子組(一)	午組(一)	亞組(一)	圓體類(一)	字體類(一)	婦女類(一)							
60	3	村北・東南部(D區)	26横十三・五乙	甲	1								1														1														乙9069は、YH344坑へ誤入例。
61	3	村北・東南部(A・D區界)	27横十三・五丙	骨	1																					1															
62	3	村北・西南部(A區)	28横十三・五丁	骨	1										1																										
63	3	村北・西南部(A區)	30横十三・五己(探坑)	甲	2										1	1																									



64	3	村北・西南部 (A區)	32横十四丁	甲	1																																				
65	3	村北・西南部 (A區)	33横十四戊	骨	1	1																																			
66	3	村北・西南部 (A區)	35横十四壬	甲	2					2																															
67	3	村北・西南部 (A區)	36横十四西	骨	6																																				
68	3	村北・東南部 (A B D區外)	37横十三・二五	甲	2																	1																			

甲骨版埋藏處考(上)

番号	発掘回数	発掘区	坑名	材質の別	分組分類対象片数	分組分類数																								不明	その他	備考																									
						王												非王																																							
						王		ト		辞		拓		片		数		王		ト		辞																																			
						自肥筆(一)	自小字(一)	自竇間A(一)	自竇間B(一)	自歴間A(一)	自歴間B(一)	出類(一)	竇組α(一)	竇一(一)	典竇(一)	竇三(一)	出一(一)	出二(一)	何組事何(三)	何一(三)	何二(三・四)	歴一(一・二)	歴二(一・二)	歴草(一・二)	歴無名間(三)	無名(三・四)	無名黃間(四)	黄類(五)	子組(一)	午組(一)	亞組(一)	圓體類(一)	劣體類(一)	婦女類(一)																							
69	3	(A B D区界) 村北・東南部	38 横十三三・三五乙 (探坑)	甲	175	3	1					2		16	18	39		2	1	14	61							1	1								1												典竇・竇三(3)								
70	3	(A B D区界) 村北・東南部	39 横十三三 (探坑)	甲	354	2	1					2		7	13	20		3	3	44	211			2				1		43	1									2							典竇・竇三(2)	「大連坑」は、乙一の傍管。									
71	3	(A B D区界) 村北・東南部	40 大連坑東段 (探坑)	甲	220									2	3	7		1	1	31	150			1				1						1																骨の片数133は重複例(甲2605)を含む。							
72	3	(A B D区界) 村北・東南部	41 大連坑南段及井 (細・穴害)	甲	30									4	5	16				1	2																																				







番号	発掘回数	発掘区	坑名	材質の別	分組分類対象片数	分組分類															不明	その他	備考																
						王										非王																							
						ト					辞					ト																							
						自肥筆(一)	自小字(一)	自竇間A(一)	自竇間B(一)	自歴間A(一)	自歴間B(一)	出類(一)	竇組♀(一)	竇(一)	典竇(一)	竇三(一)	出二(一)	出二(二)	何組事何(三)	何一(三)				何二(三・四)	歴一(一・二)	歴二(一・二)	歴草(一・二)	歴無名間(三)	無名(三・四)	無名黄間(四)	黄類(五)	子組(一)	午組(一)	亞組(一)	圓體類(一)	方體類(一)	婦女類(一)		
95	5	E 區	(H20)の 一部、 穴巻 E57	甲	6													3	2		1																		
				骨	1												1																						
96	5	E 區	(H20)の 一部、 穴巻 E59	甲	74		4	1	1										11	22	32	1			1	1													
				骨	1																	1																	
97	5	E 區	(H20)の 一部、 穴巻 E60	甲	44				1											10	11	21		1															
				骨	1																					1													
98	5	F 區	F1 (5H2) 穴巻	甲	3				1																														
				骨	16																																		

E57、E59、E60の三者が  
5：H20をなす。  
このH20は、甲六の傍書。

99	5	F 區	(探坑) F <sup>2</sup>	甲	1																							
				骨	8								2		1							3			2			
100	5	F 區	(探坑) F <sup>3</sup>	骨	10																							
101	5	F 區	F <sup>5,H5</sup> <sub>3</sub> ・ <sup>1</sup>	甲	10	1	3	1				1																
				骨	20	1	1																					
102	5	F 區	F <sup>4</sup>	骨	2																							
103	6	E 區	(探坑) E <sup>98</sup>	骨	1																							
104	7	A 區	(冊)の二部、穴卷) A <sup>31</sup>	甲	1																							
105	7	A 區	(冊)の二部、穴卷) A <sup>35</sup> 西支長方井	甲	11																							

A31とA35が7：H17を  
なす。

番 號	發 掘 次 數	發 掘 區	坑 名	材 質 の 別	分 組 分 類 對 象 片 數	分 組 類 拓 片 數															不 明	そ の 他	備 考																									
						王					ト					辭								非 王 ト 辭																								
						自 肥 兼 (一)	自 小 字 (一)	自 寶 間 A (一)	自 寶 間 B (一)	自 歷 間 A (一)	自 歷 間 B (一)	出 類 (一)	寶 組 ♀ (一)	寶 一 (一)	典 寶 (一)	寶 三 (一)	出 一 (二)	出 二 (二)	何 組 事 何 (三)	何 一 (三)				何 二 (三・四)	歷 一 (一・二)	歷 二 (一・二)	歷 草 (一・二)	歷 無 名 間 (三)	無 名 (三・四)	無 名 萬 間 (四)	黃 類 (五)	子 組 (一)	午 組 (一)	亞 組 (一)	圓 體 類 (一)	劣 體 類 (一)	婦 女 類 (一)											
106	7	A 區	A 39	骨	1										1																																	
107	7	C 區	(E183) C 64 穴 甕	骨	1																																										C 64は、乙七の探坑。	
108	7	E 區	(E157) E 157 穴 甕	甲	1	1																																								E 157は、甲七の探坑とある (『建築遺址』)。		
109	7	E 區	E 181	甲	3																																										E 181は、甲九の傍甕。	
110	8	D 區	D 32	甲	1					1																																			D 32は、甲十三の基層をなす。			
111	8	D 區	D 43	甲	1											1																														D 43は、甲十二の探坑。		
112	8	D 區	(D47) D 47 探 坑	甲	1		1																																									
113	8	D 區	(D47.2) D 47.2 探 坑	甲	2											2																																





番 號	發 掘 次 數	發 掘 區	坑 名	材 質 の 別	分 組 分 類 対 象 片 數	分 組 分 類 拓 片 數													不 明	そ の 他	備 考																	
						王						辭										非 王																
						自 肥 筆 (一)	自 小 字 (一)	自 竇 間 A (一)	自 竇 間 B (一)	自 歷 間 A (一)	自 歷 間 B (一)	出 類 (一)	寶 組 ♀ (一)	寶 一 (一)	典 寶 (一)	寶 三 (一)	出 二 (一)	出 二 (二)	何 組 事 何 (三)	何 一 (一)	何 二 (三・四)	歷 一 (一・二)	歷 二 (一・二)	歷 草 (一・二)	歷 無 名 間 (三)	無 名 (三・四)	無 名 萬 間 (四)	黃 類 (五)	子 組 (一)	午 組 (一)	亞 組 (一)	圓 體 類 (一)	劣 體 類 (一)	婦 女 類 (一)				
123	8	D 區	D 99	甲	1	1																																
124	9	D 區	D 91東支 (探坑)	甲	2		1																															
125	9	D 區	D 98墓道 (探坑)	甲	33		8	2													2									2	1	1						
126	9	D 區	D 98北段 (探坑)	甲	6		1	1																					1									
127	9	D 區	D 120 (堀、穴簀)	甲	1																								1								D120は、甲十一の傍窟。	
128	9	D 區	D 120北支	甲	1																								1									
129	9	D 區	D 120南支	骨	1																								1									

130	13	B 區	B 119 (探方)	甲	209	10	173	1	2		1	5	4											1		2	8	1	1		B119は、乙五の探坑。
				骨	5	3					2																				
131	13	B 區	B 122 (探方)	甲	12			2				3	3	4																	B122は、乙五の探坑。
132	13	B 區	B 123 (探方)	甲	2							1	1											3						B123は、乙五の探坑。	
				骨	9									4	2																
133	13	B 區	B 125 (探方)	甲	8			1				5	1		1															B125は、乙五の基層。	
134	13	B 區	B 126 (探方)	甲	8							1	3	4																B126は、乙五の基層。	
135	13	B 區	B 128 (探方)	骨	1																				1					B128は、乙五の探坑。	
136	13	B 區	B 130 136 (探方)	甲	1																										この一斗は、兩坑出土の雜 甲片が綴合されたもの。 B130は、乙五の基層。





番 號	發 掘 次 數	發 掘 區	坑 名	材 質 の 別	分 組 分 類 對 象 片 數	分 組 分 類 拓 片 數																不 明	そ の 他	備 考																			
						王 土								非 王 土																													
						自 肥 筆 (一)	自 小 字 (一)	自 寶 間 A (一)	自 寶 間 B (一)	自 歷 間 A (一)	自 歷 間 B (一)	出 類 (一)	寶 組 A (一)	寶 一 (一)	典 寶 (一)	寶 三 (一)	出 一 (二)	出 二 (二)	何 組 事 何 (三)	何 一 (三)	何 二 (三・四)	歷 一 (一・二)	歷 二 (一・二)	歷 草 (一・二)	歷 無 名 間 (三)	無 名 (三・四)	無 名 萬 間 (四)	黃 類 (五)	子 組 (一)	午 組 (一)	亞 組 (一)	圓 體 類 (一)	劣 體 類 (一)	婦 女 類 (一)	不 明								
150	15	C 區	C171 (探方)	甲	7		1						1																						1	1	1	2			C171は、乙十六の探坑。		
151	15	C 區	C172 (探方)	甲	1																																						C172は、乙十三の探坑。
152	15	C 區	C329 (探方)	骨	1	1																																					
153	15	C 區	YH224 S (穴窖)	甲	1	1																																					
154	15	C 區	YH251 (穴窖)	甲	151	3	9	3					1	2	4										1																		YH251は、乙十八の傍窖。
155	15	C 區	YH330 (穴窖)	甲	33	2	4		1					1																													片數33の内、1片(乙3932)はYH251(154)出土の綴合例であるため、本坑出土としてカサントしておく。 YH330は、乙二十の傍窖。
156	15	C 區	YH370 (穴窖)	甲	1																																						YH370は、乙二十の傍窖。
157	15	C 區	YH371 (穴窖)	甲	4									1																													YH371は、乙十三の傍窖。







附 分組分類対象拓片番號一覽 (○内の番號は、表四の通し番號である)

- ① 9 <龜甲版> 甲2~4.8.10~11.14.21~30.34~8.40.43.46~7.49~51.54~70.73~4.78.82~4.89~91.94~6.101~2.107.109.290.293~4.296. <骨版> 甲298~309.311.314~8.32  
3.327~9.332~7.340.342.345~8.350~2.
- ② 2 5. 2 6 <龜甲版> 甲110~3.119.122~5.131~2.136.141~5.148.150~3.155.157.159.161.165~78 (内、甲168は重出例) . <骨版> 甲373.375.391.
- ③ 2 4 <骨版> 甲353~67.378~87 (内、甲387は重出例) .390.424.426~7.
- ④ 2 7 <骨版> 甲376.392.410.411.
- ⑤ 2 8 <骨版> 甲377.
- ⑥ 3 0 <骨版> 甲388~9.
- ⑦ 3 1 <龜甲版> 甲179. <骨版> 甲393~405.407~8.
- ⑧ 3 5 <骨版> 甲412~4.
- ⑨ 3 6 <龜甲版> 甲181~3.185~9.191~9.201.203~4.206~7.209~16.218~9.221~2.224~32.234~45.247~54.256~68.270~4.276.278~88. <骨版> 甲444.446.
- ⑩ 3 7 <骨版> 甲415~6.419~20.422.428~30.432~8.440.442.445.447.
- ⑪ 101-102C <龜甲版> 甲483.486.488. <骨版> 甲900.902.916.
- ⑫ 103-104D <龜甲版> 甲448~58.460~70.489. <骨版> 甲490~3.495~501.503~10.512.924.928.
- ⑬ 109-110G <骨版> 甲513~7.519.
- ⑭ 117-118 I <骨版> 甲731~5.
- ⑮ 119-120 J <骨版> 甲714~7.719~20.
- ⑯ 縱一X <骨版> 甲887.890.
- ⑰ 斜一Y <骨版> 甲882.
- ⑱ 斜二Z <龜甲版> 甲478~9. <骨版> 甲889.
- ⑲ 斜一 <龜甲版> 甲472~4. <骨版> 甲520~9.531~51.553~74.580~94.596~604.607~16.623~8.630.632~46.827~8 (内、甲827は重出例) .837~8.917~8.922~3.
- ⑳ 斜一支 <龜甲版> 甲485. <骨版> 甲648~55.657~73.675.677~81.683~92.694~701.708~13.722~6.738~47.749~53.903.910~1.
- ㉑ 斜二 <骨版> 甲575~9.617~22.904.920~1.
- ㉒ 斜三支 <骨版> 甲702~7.862~4.927.
- ㉓ 斜二北支 <龜甲版> 甲475. <骨版> 甲737.754.758~67.769~72.774~96.798~803.805~8.810~2.814~8.839~41.857.865~7.
- ㉔ 斜二東 <骨版> 甲905~6.
- ㉕ 斜三 <骨版> 甲842~5.
- ㉖ 斜三東正 <骨版> 甲859~60.

- 27 斜四北支 <骨版> 甲819~20,829.  
 28 連一 <骨版> 甲727~8,755~6.  
 29 連二 <骨版> 甲729~30,757,907.  
 30 連連一 <龜甲版> 甲476. <骨版> 甲821~6.  
 31 連連二 <骨版> 甲868~72.  
 32 西斜溝 <骨版> 甲831~2,834~6,846,848~56,861.  
 33 西斜北段 <骨版> 甲909.  
 34 西斜北段西支 <骨版> 甲873~6.  
 35 西斜北段西支一 <骨版> 甲881.  
 36 西斜西支三 <骨版> 甲892~5,899,914.  
 37 西斜西支間牆及北牆・西斜西支界 <骨版> 甲891,896~8,915.  
 38 西斜南頭東支 <骨版> 甲883~4.  
 39 小連溝 <骨版> 甲885~6.  
 40 南橫溝 <龜甲版> 甲477. <骨版> 甲877~80.  
 41 1縱一己 <骨版> 甲2243.  
 42 2縱一癸 <龜甲版> 甲929,943~40. <骨版> 甲2264,2890.  
 43 3縱二甲 <龜甲版> 甲2125. <骨版> 甲2240~2,2244~5,2899~900.  
 44 4縱二乙 <骨版> 甲2239,2270.  
 45 5縱二甲乙西支 <龜甲版> 甲930~3,935~6,942. <骨版> 甲2246~51,2252,2255~9.  
 46 7縱五癸 <骨版> 甲2268~9.  
 47 8縱五癸東支 <龜甲版> 甲945~6,948. <骨版> 甲2265~7.  
 48 9縱六甲 <龜甲版> 甲939.  
 49 10縱六乙 <龜甲版> 甲940.  
 50 11橫一甲 <骨版> 甲2261.  
 51 12橫二丁 <骨版> 甲2262~3.  
 52 14橫十三乙 <龜甲版> 甲949.  
 53 15橫十三丙 <龜甲版> 甲952. <骨版> 甲2271~80,2926~34.  
 54 16橫十三丙北支 <龜甲版> 甲953~8,960~1. <骨版> 甲2282,2284,2287~9,2292,2295~6,2298~308,2310,2312,2314~9,2321~3,2325~37,2339~43,2345,2347~50,2352~7.  
 55 17橫十三丙北支一 <龜甲版> 甲966~9. <骨版> 甲2358~60,2362~5,2367~9,2371,2374~8,2380~7,2904.  
 56 19橫十三丙北支二北支 <龜甲版> 甲1032~5,1036,1039~42. <骨版> 甲2396~417,2504,2902~3,3941.  
 57 21橫十三戊 <龜甲版> 甲990~1,993~4,996,1001,1003,1005~6,1008,1011~3,1016~8,1020~1. <骨版> 甲2389,2391,2886.

- ⑤8 22横十三己 <龜甲版> 甲973.975.979~82.984.
- ⑤9 24横十三壬南支 <骨版> 甲2418.
- ⑥0 26横十三·五乙 <龜甲版> 甲2113. <骨版> 乙9069.
- ⑥1 27横十三·五丙 <骨版> 甲3939.
- ⑥2 28横十三·五丁 <骨版> 甲2905.
- ⑥3 30横十三·五己 <龜甲版> 甲1026~7.
- ⑥4 32横十四丁 <龜甲版> 甲970.
- ⑥5 33横十四戊 <骨版> 甲2924.
- ⑥6 35横十四壬 <龜甲版> 甲1029~30.
- ⑥7 36横十四西 <骨版> 甲2419~23.2925.
- ⑥8 37横十三·二五 <龜甲版> 甲2114~5.
- ⑥9 38横十三·二五乙 <龜甲版> 甲1044.1046~51.1054.1056~62.1064~7.1070~1.1074.1077~80.1083.1085~7.1089~96.1098~102.1104~5.1107~9.1110.1112.1114~6.1118~22.1124~30.1133~6.1138~9.1141~3.1145~6.1148~9.1151.1153~4.1156~9.1161.1163~70.1172.1174~5.1177.1179~80.1183~4.1186~90.1194.1197~8.1200.1202~3.1206~7.1209.1211.1214.1218~25.1227~8.1231.1233~5.1237~40.1243.1245~7.1249~52.1254~6.1259~77.1280.1282~9. <骨版> 甲2424.2426.2428~40.2442~5.2451~5.2457~8.2460~2.2464~6.2469~81.2483~4.2486~93.2495.2497~503.2506~7.2509~11.2887~9.
- ⑦0 39横十三大連坑中 <龜甲版> 甲1294~8.1300~1.1303~4.1306.1308.1311.1315~6.1318~9.1321.1323.1325~6.1328~9.1331~6.1338~48.1350~5.1360~1.1363.1365.1369.1371.1374.1376~81.1383~4.1387~9.1391.1394~5.1397~8.1403~4.1406.1409~16.1418.1420~1.1425.1429~31.1433.1435~40.1445~8.1467~71.1674.1678~80.1683~4.1687.1689~91.1694.1698~1703.1707.1709.1711~2.1718.1721.1723.1726.1730~1.1733.1740~2.1746~7.1749.1752.1755.1757.1759~60.1762~4.1768~70.1773.1776~9.1781~2.1784.1790~6.1798~9.1801~6.1808~9.1811~2.1816.1818~9.1822~8.1832~9.1841.1845~6.1848~52.1855.1858~60.1864~6.1869~70.1874~5.1878.1880~3.1885~6.1889.1892~3.1895~6.1901~2.1905~6.1908~10.1912.1915~22.1925.1927~9.1932~8.1942~3.1945.1948~59.1961~8.1970~2.1975~6.1978~82.1984~7.1989~92.1994.1996~9.2001~2.2004~9.2011~2.2014~8.2020~6.2044.2049~50.2052~4.2057.2059.2061~2.2064~7.2069~74.2076~9.2081~2.2109~10.2118~9.2136~7.2139.2141.2148~51.2153~4.2157~9.2161.2165~9.2171.2175~6.2179~81.2186.2193~5.2197~9.2203~4.2207~8.2211.2213~6.2221~4.2228~9.2232~3.2235.乙5379. <骨版> 甲2513.2515~22.2524~6.2529~30.2532~3.2701.2710~1.2714.2718~22.2725~6.2728~37.2739.2741~6.2748~54.2756~9.2761~6.2768~76.2779~92.2794~815.2819~22.2824~33.2837~41.2843~64.2866.2868~76.2878~9.2882.2892.2906~9.2911~4.2916~7.2920.2922.2935~8.2940.
- ⑦1 40大連坑東段 <龜甲版> 甲1353~5.1360~1.1363.1365.1369.1371.1374.1376~81.1383~4.1387~9.1391.1394~5.1397~8.1403~4.1406.1409~16.1418.1420~1.1425.1429~31.1433.1450.1456~60.1463.1465.1468~73.1475~6.1479~81.1483~4.1486~8.1490~500.1503~6.1508~11.1515~6.1518.1520~2.1525~6.1528~37.1539~40.1543~4.1548~66.1568~9.1571~3.1575~8.1580~1.1585~7.1591.1594~9.1601.1603~11.1613.1618~24.1626~38.1640~3.1645~51.1653~60.1662~4.1666.2027~41.2043. <骨版> 甲2536.2539~42.2544.2546.2549~50.2552~5.2557.2561~3.2568~73.2575.2577~83.2585.2587~93.2595~7.2600~2.2604~22 (內、甲26053重出例).2624~7.2629.2630~7.2639~44.2646~55.2657~61.2663.2665~8.2670~81.2683~99.
- ⑦2 41大連坑南段及井 <龜甲版> 甲2085~94.2096~7.2099~104.2106. <骨版> 甲2512.
- ⑦3 42大連坑西段 <龜甲版> 甲1665.2126.2128. <骨版> 甲2700.

- 74 1A 3 <龜甲版> 甲3177.
- 75 2A 1 3 <龜甲版> 甲3180,3186,3188,3193~4,3200,3203,3206,3208~9,3219,3222,3224,3227~8,3230~1,3233,3235,3316~8. <骨版> 甲3359.
- 76 3A 1 4 <龜甲版> 甲3215.
- 77 4A 1 6 <龜甲版> 甲3280~1,3283,3286,3289,3298,3310~2.
- 78 6A 2 2 <龜甲版> 甲3299.
- 79 7A 2 5 <龜甲版> 甲3238,3245~6,3251,3256,3263~5,3271~5.
- 80 9B 4 <龜甲版> 甲3300.
- 81 12B 1 2 <龜甲版> 甲3302.
- 82 13B 1 6 <骨版> 甲3349.
- 83 14B 1 7 <骨版> 甲3357~8.
- 84 15B 3 0 <龜甲版> 甲3304.
- 85 17B 4 6 <龜甲版> 甲3306,3321.
- 86 18E 5 <骨版> 甲3352.
- 87 21E 1 0 <骨版> 甲3940.
- 88 22E 1 6 <龜甲版> 甲2941~2,2944,2947~52,2955~64,2967~70,2974,2976,2980,2982~5,2988~91 (內、甲2990(重出例),2993,2995~6,2998~3018,3022,3024~8,3030~2,3055,3038~9,3041~2,3044~7,3049~51,3056~7,3060~4,3066~9,3073~6,3078~80,3083~7,3090~2,3095~6,3099,3103~4,3106 (重出例),3108,3111~2,3114~7,3121~3,3127,3129~30,3134~6,3138~9,3142~7,3149,3152~6,3161~6,3170~1,3322,3324~5,3327~8. <骨版> 甲3329~45.
- 89 23E 2 1 <骨版> 甲3350,3355~6.
- 90 24E 2 3 <骨版> 甲3351,3353.
- 91 B 6 9 <龜甲版> 甲3379.
- 92 B 8 5 <龜甲版> 甲3381.
- 93 E 3 9 <龜甲版> 甲3575~6.
- 94 E 5 2 <骨版> 甲3649.
- 95 E 5 7 <龜甲版> 甲3382~6,3388. <骨版> 甲3650.
- 96 E 5 9 <龜甲版> 甲3389~90,3394,3396~402,3404,3406~7,3409~10,3412,3414~5,3419~30,3432~3,3435~8,3442~7,3449,3451~3,3456,3459~60,3462,3464~5,3467~9,3472~6,3478~83,3485~6,3563,3566~8,3570,3573. <骨版> 甲3655.
- 97 E 6 0 <龜甲版> 甲3488~9,3494,3497~9,3504,3506~15,3518~22,3524~34,3536~7,3539~40,3542,3548,3550,3554~5,3558,3560. <骨版> 甲3651.
- 98 F 1 <龜甲版> 甲3363~5. <骨版> 甲3577~8,3582~93,3595,3652.
- 99 F 2 <龜甲版> 甲3376. <骨版> 甲3625~8,3630~4.
- 100 F 3 <骨版> 甲3636~44,3646.
- 101 F 3 • 1 <龜甲版> 甲3366~75. <骨版> 甲3596~601,3604~5,3609~10,3612~5,3619~23,3629.

- ⑩ F 4 <骨版> 甲3647~8.
- ⑪ E 9 8 <骨版> 甲3659.
- ⑫ A 3 1 <龜甲版> 甲3684.
- ⑬ A 3 5 西支長方井 <龜甲版> 甲3660~2,3667,3670~6.
- ⑭ A 3 9 <骨版> 甲3686.
- ⑮ C 6 4 <骨版> 甲3689.
- ⑯ E 1 5 7 <龜甲版> 甲3683.
- ⑰ E 1 8 1 <骨版> 甲3687~8,3690.
- ⑱ D 3 2 <龜甲版> 甲3692.
- ⑲ D 4 3 <龜甲版> 甲3701.
- ⑳ D 4 7 <龜甲版> 甲3698.
- ㉑ D 4 7 • 2 <龜甲版> 甲3730,3737.
- ㉒ D 4 8 <龜甲版> 甲3708,3710,3715,3723,3725.
- ㉓ D 4 9 <龜甲版> 甲3774~6.
- ㉔ D 5 0 <龜甲版> 甲3749,3753~5,3763~4,3768.
- ㉕ D 6 8 <龜甲版> 甲3729.
- ㉖ D 7 4 A <龜甲版> 甲3695.
- ㉗ D 9 2 <龜甲版> 甲3777.
- ㉘ D 9 3 <龜甲版> 甲3779.
- ㉙ D 9 5 <龜甲版> 甲3780.
- ㉚ D 9 8 墓道 (第八次發掘) <龜甲版> 甲3741,3745~6,3748.
- ㉛ D 9 9 <龜甲版> 甲3752.
- ㉜ D 9 1 東支 <龜甲版> 甲3921,3924.
- ㉝ D 9 8 墓道 (第九次發掘) <龜甲版> 甲3789~90,3793~4,3798,3800~1,3803,3805,3808~9,3814,3816,3821,3824~7,3829~30,3832~4,3836~9,3841,3847,3854,3867~8,3870.
- ㉞ D 9 8 北段 <龜甲版> 甲3877,3879,3883,3889,3892,3899.
- ㉟ D 1 2 0 <骨版> 甲3932.
- ㊱ D 1 2 0 北支 <龜甲版> 甲3928. <骨版> 甲3930.
- ㊲ D 1 2 0 南支 <骨版> 甲3931.
- ㊳ B 1 1 9 <龜甲版> 乙1~2,6~7,10~3,15~23,25~47,49~53,55~6,58~61,63~9,71~80,82~3,86~7,89~135,137~48,150~65,169~70,173~208,210,212~3,215~7,219~25,228~9,231~4,237,8496~9. <骨版> 乙8639,8661~2,8674~5.
- ㊴ B 1 2 2 <龜甲版> 乙251,260~1,269,8468~9,8479,8481~2,8486,8489,8491.

- ㉔ B 1 2 3 <龜甲版> 乙273,276. <骨版> 乙8642~5,8676~80.  
 ㉕ B 1 2 5 <龜甲版> 乙279~80,282~3,285~6,288,8501.  
 ㉖ B 1 2 6 <龜甲版> 乙290~1,293~5,461,465,4977.  
 ㉗ B 1 2 8 <骨版> 乙8647.  
 ㉘ B 1 3 0 (+B 1 3 6) <龜甲版> 乙297.  
 ㉙ YH 0 0 5 <龜甲版> 乙298. <骨版> 乙8649~50.  
 ㉚ YH 0 0 6 <龜甲版> 乙299~303,305~8,312~3,315~9,321~5,327,329~32,334~5,337~8,340~2,344~6,348~53,356~7,359~61,363~73,375~81,383,385~94,396~416,418~37,439~47,449~60,462,464,466,8502~4. <骨版> 乙8651~6,8688.  
 ㉛ YH 0 3 8 <龜甲版> 乙475.  
 ㉜ YH 0 4 4 <龜甲版> 乙478~9,481~2,8505,8507,8509~20,8522~7,8529~31.  
 ㉝ YH 0 9 6 <龜甲版> 乙485.  
 ㉞ C 7 5 <骨版> 乙8648,8682.  
 ㉟ YH 0 1 7 <龜甲版> 乙468~72.  
 ㊱ YH 0 3 6 <龜甲版> 乙474. <骨版> 乙8658~60,8683~7.  
 ㊲ YH 0 9 0 <龜甲版> 乙484.  
 ㊳ YH 1 2 7 <龜甲版> 乙487~9,493,496~500,504~5,507~8,510~7,519~22,524,526,528~31,533~6,538~44,546~9,551~64,566~7,570,572~81,583~4,586~9,591~4,597,601~5,608,611,615~7,621,627~34,636~43,645~6,649~51,653~90,692~3,695~703,706~13,715,718~31,733~8,740~56,758~73,775~9,781~3,785~99,802~8,810~7,819~44,846~7,851~6,858~76,878,881~5,888~9,892~3,895~902,905~7,909~12,914,918~24 (内、乙922は重出例). 926~31,933~5,937~8,940~1,943~4,946~54,956~7,959~74,976~87 (内、乙986~7は重出例). 989~91,993,996~1006,1008~11,1014~6,1018~20,1022~8,1030~4,1037~9,1041~59,1061~81,1083~6,1088~103,1105~9,1111,1113,1115~8,1120~5,1127,1131~9,1143~5,1148~53,1155,1157~8,1160~2,1164~6,1168~78,1181~5,1187~90,1192~202,1204~9,1211~9,1221~3,1225~9,1231~3,1235~7,1240~5,1247,1249~50,1253~6,1261~4,1267~70,1272,1274,1276~8,1281~4,1286~7,1289~91,1293,1296~7,1299~30,1302~3,1305,1307,1310~25,1328~9,1331,1334~8,1341~5,1347,1349~50,1352~3,1355,1357,1364,1368~81,1383~5,1388~9,1391~400,1404~5,1410~1,1413~20,1422~5,1427~30,1432,1434~51,1454~7,1459,1462~5,1467~71,1473~6,1479~81,1483,1486,1490,1493~7,1499~500,1508,1510,1512~3,1515,1518~21,1523~7,1529~32,1534,1536~42,1545~51 (内、乙1546は重出例). 1553~6,1559~60,1563~4,1566,1568,1571~5,1577~81,1583,1585~90,1592,1594~6,1598~611,1615~6,1620~6,1632,1634~5,1637~8,1640,1642,1646,1648,1650~7,1661,1667~71,1675~7,1680,1682~3,1685~7,1691~3,1697~8,1702,1704~12,1714~9,1721~5,1730~9,1742~5,1747~58 (内、乙1752は重出例). 1760,1763~7,1770~3,1777~81,1783~4,1786~9,1792~3,1795,1797~801,1803,1805~6,1809,1811,1813~4,1818,1822~5,1830,1834,1837,1839,1844~5,1847~50,1853,1855~60,1862~8,1870~8,1881~2,1884~7,1891~5,1897~902,1904~8,1910~21,1923~9,1931~3,1935~50,1952~62,1965~74,1976~89 (内、乙1984は重出例). 1992~5 (内、乙1992は重出例). 1998,2000~10,2013~4,2017~24,2027~45,2047~9,2053~5,2061~5,2068~73,2080~2,2087~125,2127~8,2130~3,2135~51,2153~61,2163~8,2170~4,2176~9,2181~7,2191~5,2200~8,2210~22,2226,2229,2231~2,2235~40,2242~9,2252~4,2256~7,2259~60,2262,2266~71,2273~8,2280~2,2284~98,2300,2302~3,2305~13,2315~24,2326~34,2336~7,2340~7,2351~4,2356~64,2366~9,2372~6,2378,2380~5,2387~8,2391~4,2396,2399~401,2405,2407~9,2414~9,2421,2424,2428~9,2432~5,2438~40,2443,2446,2450~5,2458~9,2461,2463~72 (内、乙2469は重出例). 2475~6,2478,2480,2482~95,2497~8,2500~15,2518~9,2521~6,2529~30,2532~40,2542~6,2549~50,2552~7,2559~64,2566~75,2577~97,2600~8,2611,2

614~6,2618,2620~1,2626,2628~9,2631~44,2646~7,2650,2652~3,2655~65 (内、乙2664(重出例) .2667~8,2672~3,2676~84,2686~94,2696~8,2700~5,2708~10,2712~6,2718~9,2721~30 (内、乙2721~2(重出例) .2732~41,2743~4,2746~7,2749,2751~4,2756,2759~60,2762~4,2766,2768~9,2773~80,2782,2788,2790~3,2796,2798,2800~6,2809~16,2818,2820,2824~5,2827~8,2830~40,2843~7,2852~63 (内、乙2862(重出例) .2866,2869,2871~2,2874~80,2882~6,2889~95,2897~906,2908~15,2917,2921~2,2924~6,2931~2,2935~6,2938~44,2946,2948~50,2953~4,2956~9,2961~75 (内、乙2970(重出例) .2977~80,2982~4,2988,2991~2,2994,2996~7,2999~3003,3005,3007~11,3015~9,3021~9,3031~2,3035~7,3044~6,3050,3053~5,3057,3060~75,3077~87,3089~95,3098~103,3106~22,3125~30,3132~4,3139~45,3147~9,3152~7,3159,3161~4,3168~81,3183~89,3192,3195~219,3222~5,3229~32,3234~6 (内、乙3234(重出例) .3238,3243,3249~72,3274~83,3285~95,3297~313,3315,3317~32,3334~41,3343~8,3350,3354~7,3359,3365,3369~70,3372~3,3375~85,3387~9,3391~2,3394~446,3448~54,3456~7,3460,3462,3467~78,3483,3486,3493,3495~6,3498~501,3503,3505~6,3508,3511,3516~7,3519~28,3534~8,3541,3543~6,3549~55,3557~8,3560~1,3569~73,3580~3,3589~91,3594~7,3599,3602~3,3605,3616,3618,3620~3,3625,3627,3630~1,3635,3637~9,3644~5,3651~2,3658~9,3661~2,3664,3668~71,3679~87,3689~93,3697,3699~703,3706,3708,3710~3,3716~8,3720~2,3724~8,3730~7,3741~5,3749,3756,3758,3760~8,3770~2,3774,3776,3780,3783,3785,3787~8,3790~805,3807,3809~11,3815,3818,3821~3,3826~7,3841~3,3849~50,3853,3856,3859~62,3864~6,3869~70,3881,3883,3888~9,3891~2,3895~6,3899,3902,3905,3910,3912~3,3919,3921~3,3925~30,3933~5,3939~40,3943~7,3949~50,3952,3953~5,3959~60,3963,3965,3969~75,3977~83,3987~94 (内、乙3990(重出例) .3999~4001,4003~6,4008~10,4012~4,4019,4024,4027~36,4039,4044~7,4049,4051~2,4054~60,4062~75,4077~8,4080~5,4088,4092,4097~101,4110~1,4113,4116,4118~23,4125,4127~33,4135~7,4139~41,4144~5,4151~2,4154~8,4160,4162~6,4170~2,4174,4180~1,4183,4185~6,4194~6,4198~202,4204~8,4210,4212~3,4216~23,4225,4227~9,4232,4235~7,4241~2,4250~1,4253~4,4256,4258,4260,4262,4270~2,4274~7,4279~84,4287,4291,4293~4,4297,4299~301,4303~4,4306~7,4309~13,4315,4318,4320,4330~1,4333,4335~7,4340~1,4345,4350~2,4354,4356~9,4362~3,4367~70,4372~4,4378,4380,4385~90,4392~4,4398~400,4403~11,4413~7,4419~23,4425~7,4429~32,4434~7,4440~1,4443~5,4447~50,4452,4455,4460~3,4465~8,4471~7,4480,4482~4,4485~90,4494~5,4502~3,4505~14,4516~24,4526~32,4534~56,4561~3,4565,4567~9,4571~3,4577~8,4581~2,4584~600,4602~11,4613~20,4623~45,4647,4651,4653,4657~74,4676~88,4690,4692~7,4699~706,4708~9,4711,4713~4,4716~21,4723~34,4737~50,4752~3,4755,4758~66,4768~80,4783~6,4788~9,4793~4,4798~800,4808~9,4811~29,4832~8,4840,4842,4844~5,4847,4853~4 (内、乙4853(重出例) .4856~61,4864~5,4867~70,4872,4874~6,4878~80,4882~3,4885~93,4897,4899~901,4904,4908~21,4923~40,4943,4946~9,4951~4,4957~74,4980,4983~5,4987~8,4991~3,4995~6,4998,5000~5,5007~11,5013,5016,5026~7,5030~1,5033,5038~9,5042,5045~50,5052,5057~8,5060~1,5067~9,5071~3,5075~6,5078~9,5081,5083,5086~93,5095~101,5106~9,5112~3,5115~6,5118~9,5122~3,5130,5132~5,5137~41,5144~8,5150,5152,5155~69,5177~94,5196,5198~201,5208~10,5221~9,5231,5234,5236~7,5241~8,5251~8,5260~1,5265~81,5286~91,5296~7,5301~7,5311~21,5323~30,5333~6,5338~43,5346~53,5355~7,5359~62,5365~7,5377~8,5380~2,5384,5385~90,5393~9,5401~11,5415,5424,5426,5429~31,5433,5435~6,5440~6,5448~57,5460~2,5465,5467~74,5477~8,5480,5483,5485,5487,5489~90,5493~5,5497~508,5512,5514~6,5519~24,5526,5530,5535~6,5538,5540,5542,5544~5,5548~9,5557~8,5563~9,5574,5576~9,5581~2,5584~91,5583~6,5598~601,5603~8,5610,5612~4,5616~7,5623~5,5628,5630~1,5633~51,5655~7,5664,5668,5670,5672~3,5678,5682~3,5685~6,5689~92,5695~703,5707,5712~4,5720,5722,5726,5728,5736~9,5741~4,5746~7,5749~50,5754,5756,5758,5760~3,5765,5767,5769,5771,5775~80,5786~804,5806~12,5814,5823~7,5830,5833~6,5839,5841~2,5844~6,5849~50,5852~6,5858~61,5866~70,5874,5876,5878,5881~4,5886,5890,5896~902 (内、乙5902(重出例) .5904~16,5918~20,5924,5932~6,5941~4,5946~7,5950~1,5953~6,5959,5961~3,5967~70,5976,5979,5981~2,5985~91,5996,6001,6003~5,6011~6,6020~3,6026~31,6035,6037,6040,6043~57,6059~60,6062~3,6065,6068 (重出例) .6070~4,6081,6083,6088~9,6092~6,6098,6100,6103,6105~6,6109~14,6117,6120~1,6124~7,6136,6141,6144~57,6164~7,6170~1,6174,6176~7,6179~81,6183,6186~90,6192~3,6196~7,6200~3,6205,6207~8,6211~7,6220~1,6228~32,6235~6,6241~4,6253~4,6256,6258~61,6263~70,6272~82,6285,6289~95,6297~307,6310~1,6313,6315~20,6325,6327~9,6337~8,6343~5,6348~51,6354~5,6358,6360~2,6366~7,6370~8,6380~2,6384~6,6389~402,6404~27,6429,6432~4,6440~1,6443,6446~51,6453~4,6457~62,6464,6468~71,6474~80,6482,6484,6488~95,6898,6502~3,6506,6511~3,6515~9,6

- 522~8,6530~5,6538~9,6546~53,6555~62,6564~5,6569~72,6576~87,6590~2,6594~8,6601~2,6606,6608~11,6614~6,6622~4,6627,6630~1,6635~8,6641~2,6645~7,6649~50,6653~4,6658~9,6661~72,6674,6676~9,6681~2,6684~701,6703~44,6746~55,6758~9,6761,6764~6,6768~81,6784,6786~8,6790~1,6794~5,6798~9,6801~4,6807~13,6816,6819~22,6824~8 (内、乙6828(は重出例) .6830~1,6834~5,6837~40,6842~4,6846~7,6849~54,6856~63,6865~9,6875~84,6886~90,6894~902,6906~7,6909~11,6913,6915~8,6921~4,6926~38,6940~1,6945~52,6954~67,6969,6977~9,6983~4,6986,6988~90,6994,6997~8,7000~1,7006~12,7014~23,7025~7,7029~33,7035~6,7039~43,7046~56,7058~9,7061~5,7067~71,7073~4,7076~83,7085~7,7090~7,7099~100,7103~4,7106,7108~9,7112,7114~5,7117~33,7135~44,7146~58,7160~9,7171~88,7190~5,7197~208,7210~2,7214,7215~24,7227,7230~4,7236~7,7243,7246~8,7250~4,7257~64,7266~8,7272,7274~7,7280~5,7288~95,7299~322,7324~6,7328,7331,7336~8,7340~5,7347~8,7350~3,7355~62,7366~8,7370~88,7390~6 (内、乙7393(は重出例) .7399~402,7404~18,7420,7422~39,7441~57,7459~62,7465~6,7468~9,7471,7473~96 (内、乙7479(は重出例) .7498~501,7504~18,7520~1,7523~5,7527~33,7535~42,7544~5,7547,7549,7551~2,7554~5,7558,7560~2,7565~6,7568~9,7572~80,7582~4,7586~90,7593~7,7600,7602,7609~10,7617,7621~2,7626~9,7634,7639,7643,7645~8,7651~3,7655~6,7660~4,7666~7,7669~80,7683~6,7688~97,7699~702,7704~7,7709~16,7718~27,7731~9,7741~52,7756~77,7779~83,7788~90,7793~801,7804~12,7814~9,7821,7826~9,7832,7834~5,7837~40,7842~7,7850~6,7858~64,7866~76,7879~80,7882~4,7889~96,7898,7900~3,7905~14,7918~28,7933~8,7940,7946,7950~1,7953,7955~62,7964~8,7973~81,7985~9,7991~3,7997~8001,8009~15,8022~5,8028~9,8033~5,8038~41,8043,8045~7,8049~55,8057~8,8060~6,8068~9,8072~3,8075~81,8083~5,8088,8090~5,8097~9,8101,8105~15,8119~20,8122~35,8138~42,8144~53,8157~8,8161~2,8165~74,8176~8,8181~2,8186~91,8195~202,8205~14,8216~8,8220,8222~7,8230,8232,8235~6,8244,8246~7,8249,8251~2,8256,8260,8262,8267~9,8274,8277~9,8281~2,8287~90,8292,8294~9,8301~2,8304~8,8310~2,8314~6,8318~25,8327~30,8332~6,8338~42,8344~9,8351~2,8354~5,8357,8360~2,8364~72,8375~6,8382,8386~8,8390,8392~5,8397,8400,8402,8404~8,8412~7,8421~5,8427,8433~7,8439,8441,8459~67. <骨版> 乙8663~73.
- ㉔ C 1 2 8 <龜甲版> 乙8690.
- ㉕ YH 2 2 8 <龜甲版> 乙8689.
- ㉖ C 1 7 0 <龜甲版> 乙9038.
- ㉗ C 1 7 1 <龜甲版> 乙9039~40,9042~5,9047.
- ㉘ C 1 7 2 <龜甲版> 乙9051.
- ㉙ C 3 2 9 <骨版> 乙9054.
- ㉚ YH 2 4 4 S <龜甲版> 乙8982.
- ㉛ YH 2 5 1 <龜甲版> 乙8691~706,8710~2,8714~6,8718~23,8725~8,8730,8734,8738,8740~2,8745,8747~9,8751,8755~6,8758~9,8761~4,8766,8768,8770,8773,8779~81,8783~6,8789,8791,8793~7,8800~2,8804~17,8819~29,8834~5,8837,8841,8843~4,8848~63,8865,8867,8869~74,8876~8,8880~9,8892~8,8952 (重出例) .8959,8997,9031.
- ㉜ YH 3 3 0 <龜甲版> 乙8939~42,8944,8946~52 (内、乙8952(は重出例) .8955~6,8958,8960~2,8965,8968,8970,8973~4,8977,8980~1,8985~7,8990~1,8993,9050.
- ㉝ YH 3 7 0 <龜甲版> 乙8909.
- ㉞ YH 3 7 1 <龜甲版> 乙9027~30.
- ㉟ YH 2 5 3 <龜甲版> 乙8899~905,8907~8,8913~5,8921~2,8924~7,8929,8931~2. <骨版> 乙9057,9062.
- ㊱ YH 2 5 8 <骨版> 乙9064.
- ㊲ YH 2 6 5 <龜甲版> 乙8935~6.
- ㊳ YH 2 7 9 <骨版> 乙9065.



- ㉔ YH 3 0 9 <龜甲版> 乙8938.  
 ㉕ YH 3 3 8 <龜甲版> 乙8995~6 (內、乙8996は重出例).  
 ㉖ YH 3 5 4 <骨版> 乙9089.  
 ㉗ YH 3 6 7 <骨版> 乙9094.  
 ㉘ YH 4 0 9 <龜甲版> 乙9035.  
 ㉙ YH 3 4 4 <龜甲版> 乙8996,8998~9006,9008,9013,9016~7,9020~2. <骨版> 乙9066~8,9070~82,9084~8,9103.  
 ㉚ YH 3 5 9 <骨版> 乙9092.  
 ㉛ YH 3 6 4 <骨版> 乙9091,9093.  
 ㉜ YH 3 9 3 <龜甲版> 乙9033~4.  
 ㉝ YH 4 2 7 <骨版> 乙9096~8,9104.  
 ㉞ YH 4 4 8 <龜甲版> 乙9036~7.  
 ㉟ YM 3 3 1 <骨版> 乙9099.  
 ㊱ YM 3 6 2 <龜甲版> 乙9023~4. <骨版> 乙9100.